

# 配布資料

村上駅周辺地区の現況について

(平成26年2月21日)

# 1. 人口・世帯

- 人口は駅半径500m以内で増加、その他は減少。増加傾向は、飯野西、山居町1、緑町4,5など。
- 世帯数は駅西側で増加、東側で減少。駅前と駅西を合わせると、駅から500m以内では増加傾向。
- 高齢率40%超が田端町、松山、35%超が飯野桜ヶ丘。20%未満は飯野西、緑町5、松原町1～3など。

## 地区(駅東・駅西)別人口推移

		H12	H17	H22	H22/H12
駅から半径 500m以内	駅東	801	806	772	0.964
	駅西	832	891	931	1.119
駅から半径 500～1000m	駅東	6,796	6,572	6,360	0.936
	駅西	2,157	2,149	2,020	0.936
駅から半径 1000m以内	駅東	7,597	7,378	7,132	0.939
	駅西	2,989	3,040	2,951	0.987

[キーワード]  
○人口減少  
○世帯人員の減少  
(一人暮らし世帯の増加)  
○高齢化への対応

- 旧ジャスコ跡地(現病院向け駐車場)のほか、まとまった未利用地が複数散在。
- 現村上総合病院が移転した場合、未利用地となる。
- 既存の商店街や住宅地等で空き家が存在。
- 駅周辺地区の地価は商業地、住宅地ともに低下傾向。
- 都市計画の用途地域や準防火地域、景観計画区域などに指定。

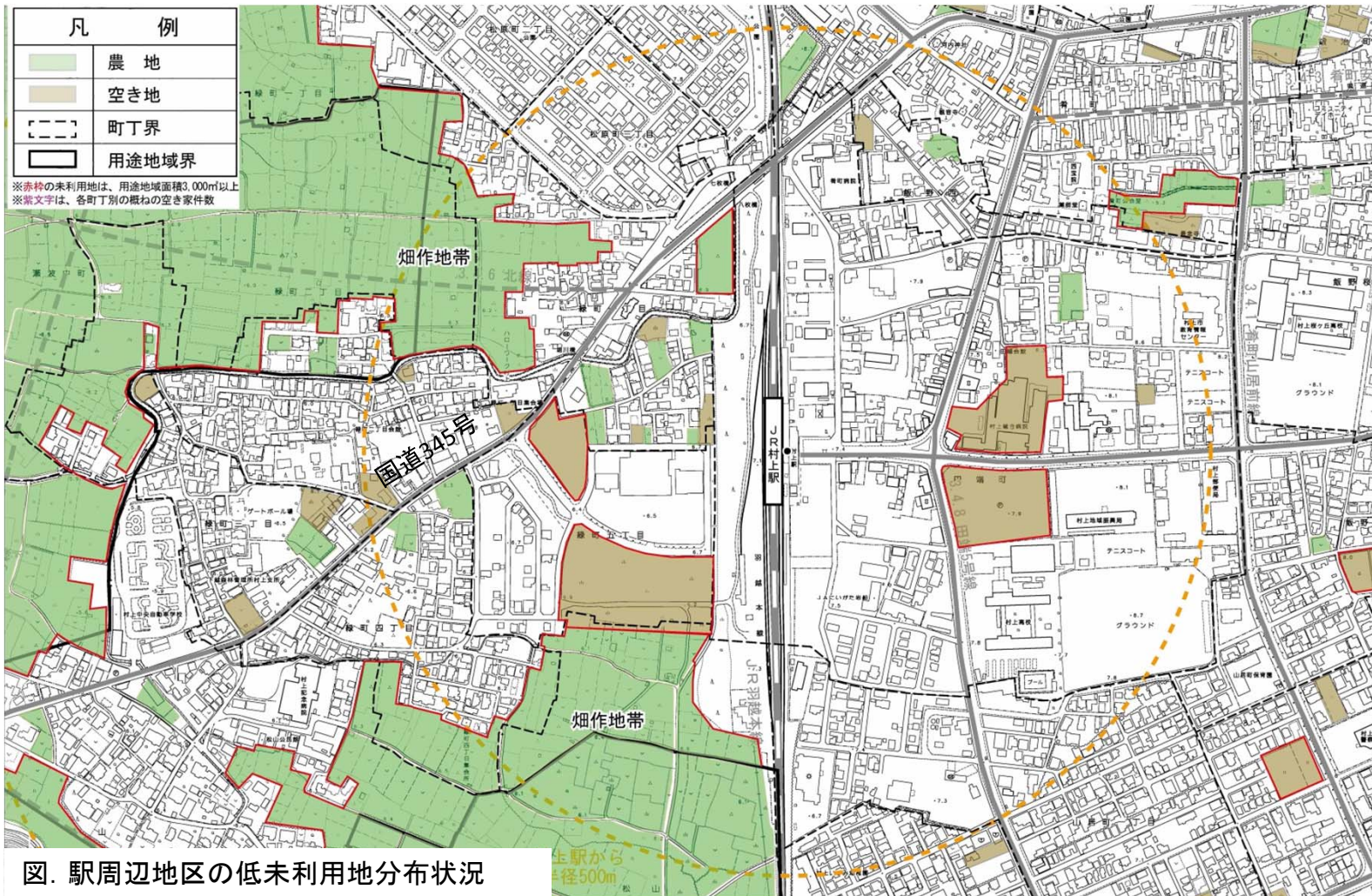


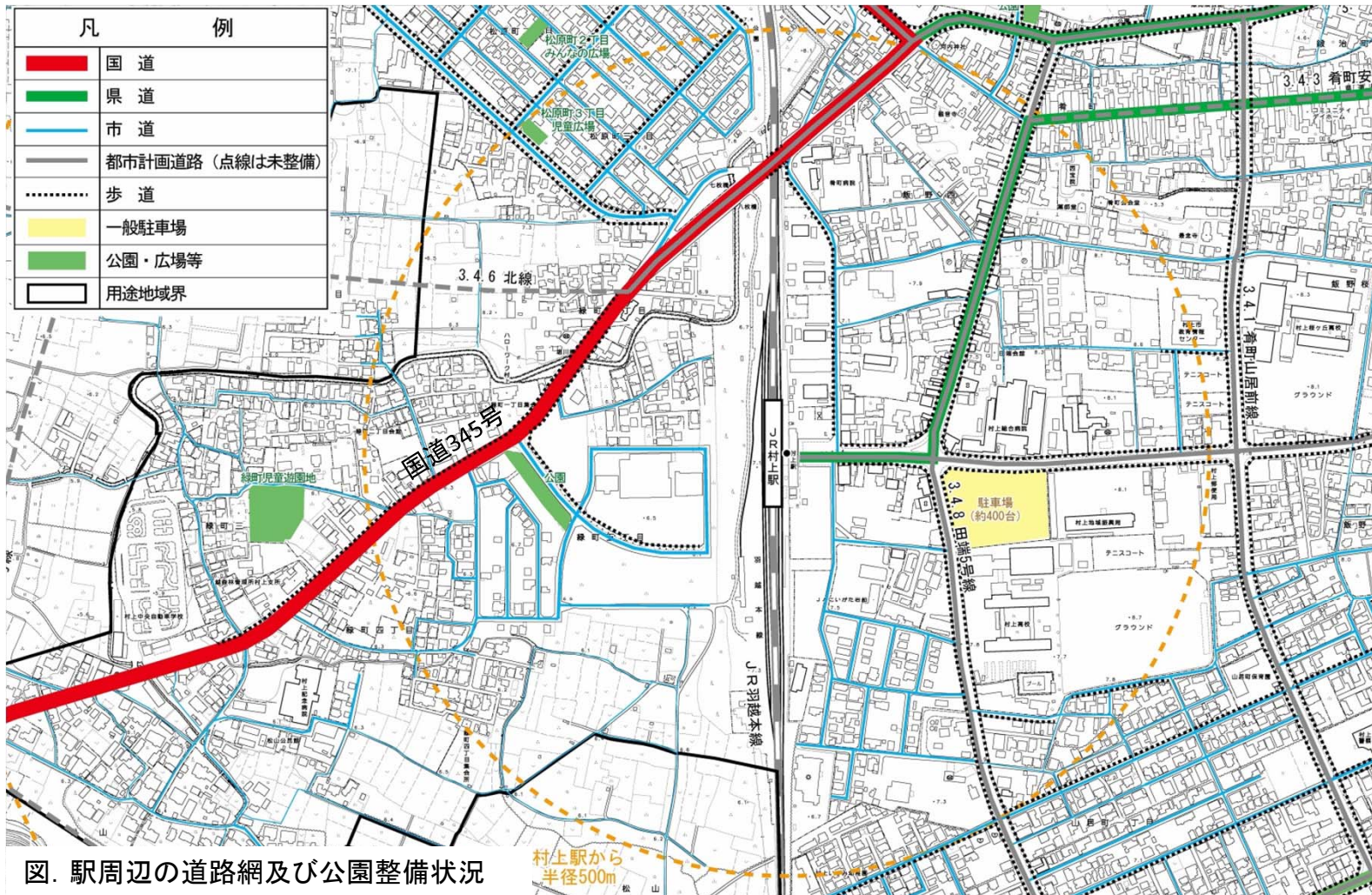
図. 駅周辺地区の低未利用地分布状況

[キーワード]

- 病院移転による大規模跡地
- 空き地、空き家、未利用地
- 景観への配慮

### 3. 都市基盤

- 駅東側は幹線道路の配置が充実し、歩道も概ね整備。一方、駅西地区の幹線道路は国道345号のみで道路網が形成されていない。
- 鉄道横断箇所は、駅から離れた場所に3か所。平面横断(踏切)もある。
- 公園・広場が未整備。
- 一般車が利用できる駐車場は、旧ジャスコ跡地(約400台収容)のみ。



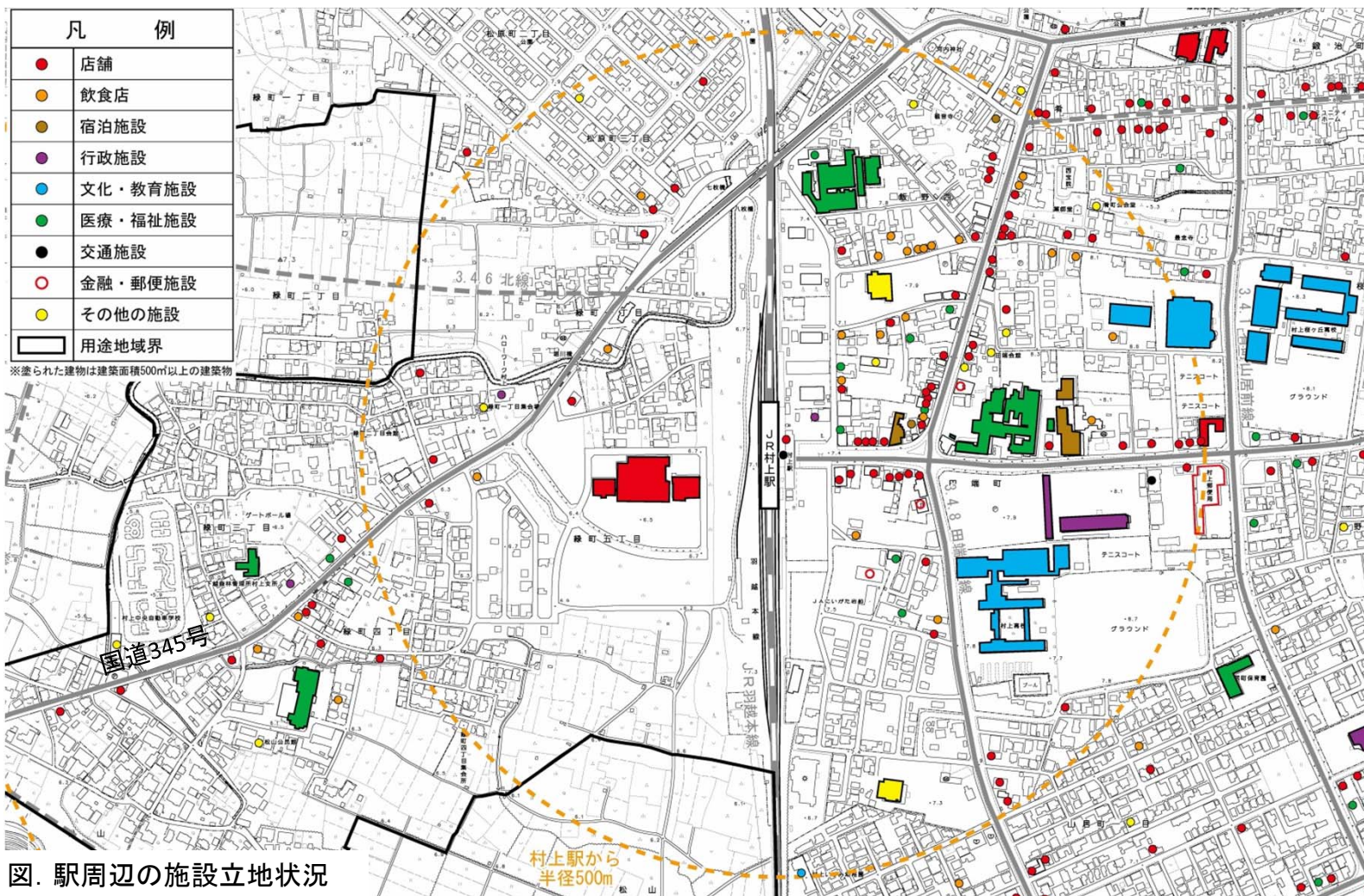
[キーワード]

- 駅西側の道路網整備
- 歩行・自転車走行の環境整備
- 鉄道横断箇所の不足
- 公園・広場等の不足
- 駐車場の整備

図. 駅周辺の道路網及び公園整備状況

# 4. 都市機能・サービス

- 医療[村上総合病院]、就学[村上高校、桜ヶ丘高校]、交流[中央図書館、生涯学習推進センター]などの機能が存在。居住機能は戸建て住宅中心
- 駅前～肴町間の都計道田端5号線沿線の「駅前通り商店街」を中心に、店舗や飲食店が立地。連続性に欠け、駐車スペースが殆ど無い。駅西側に駅西ショッピングセンター(原信等)のほか、国道345号沿線に小規模な店舗等が点在。



## [キーワード]

- 地区内に多様な市民が存在(高校生、通院者、その他公共施設利用者など)
- 駅前通り商店街の活力低下
- 東西で都市機能が線引き

図. 駅周辺の施設立地状況

## 5. 駅・駅前空間の機能

5

- 駅前広場は、東西約40m・南北約90mの空間内に一般車乗降場、駐輪場、バス・タクシーの乗降場、瀬波温泉等の送迎バスなどが集中。動線が輻輳し、歩行者・自転車の専用空間が確保されていない。一般車の利用スペースは5台程度。
- 観光案内所や駅舎内コンビニ、レンタカー、交番などの施設。
- 駅西側への連絡や改札口は無い。



←図. 駅東側の広場の状況



図. 駅舎の出入り口付近→



図. 広場の駐輪場、一般車両の駐車スペース



図. 広場の冬期の状況→

### [キーワード]

- 駅前での多様な交通動線の錯綜
- 歩行者・自転車の安全確保
- 駅の東西間での連絡が無い
- 駅前空間の魅力